毎月１回１日発行
発行　公益社団法人　全国防災協会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町２－８(新小伝馬町ビル６F)
電話 03(6661)9730　　FAX 03(6661)9733
発行責任者：水落雅彦
編集委員会：佐野俊光　松岡一成　宮下妙香　佐々木靖
野田徹　白石栄一　　印刷所：(株)白　橋

令和６年５月30日　令和６年度定時総会

目　　次

令和６年度 災害復旧実務講習会を開催…… 2
６月１日から土砂災害防止月間が始まります！…… 8
河川入門講座（24）　砂防（その２）―砂防法の制定まで―…… 9
協会だより　令和６年度第１回通常理事会開催……10
令和６年度定時総会、第２回通常理事会、総括災害査定官による説明会、
総会記念懇親会……11
被害報告……令和６年４月30日現在…16

# 令和６年度 災害復旧実務講習会を開催

公益社団法人 全国防災協会

**会場**：東京都千代田区　砂防会館別館シェーンバッハ・サボー

令和６年度の災害復旧実務講習会は、５月20日(月)、21日(火)の２日間にわたり、国土交通省水管理・国土保全局防災課、国土政策局広域地方政策課調整室、福岡県のご協力を頂き、東京都千代田区の砂防会館別館シェーンバッハ・サボーにて開催しました。

我が国の地形・地質は急峻かつ脆弱であり、さらに台風、集中豪雨、地震・火山噴火等の異常な天然現象が多く、災害が発生しやすい自然条件下に置かれています。このため､災害は毎年のように発生し、日々の日常生活を始めとして社会・経済活動等に重大な影響を与えています。

昨年（令和５年）災害は、５月に石川県能登地方を震源とする最大震度６強を記録する地震が発生し、死者１名、負傷者45名、家屋の全壊、半壊、一部破損等合わせて739棟の甚大な被害が発生しました。

また、台風第２号が５月31日から６月２日にかけて沖縄地方にかなり接近し、沖縄・奄美では大雨となった所がありました。梅雨前線が６月１日から３日午前中にかけて本州付近に停滞し、台風周辺の非常に暖かく湿った空気が流れ込んだため、２日には前線の活動が活発になり、西日本から東日本の太平洋側を中心に大雨となり、高知県、和歌山県、奈良県、三重県、愛知県、静岡県で線状降水帯が発生し、死者行方不明者７名、負傷者42名、家屋の全壊13棟、損壊41棟、床上浸水2,149棟、床下浸水5,841棟に上る甚大な被害が発生しました。

７月、８月には、梅雨前線・台風６号・台風７号により、全国各地で大雨となり、死者行方不明者16名、負傷者181名、家屋の全壊18棟、損壊54棟、床上浸水1,640棟、床下浸水2,677棟に上る甚大な被害が発生しました。

また、今年の１月には令和６年能登半島地震が発生する等、全国各地で激甚な災害が発生しました。

当協会では、７月豪雨で甚大な被害を受けた福岡県広川町、うきは市、富山県南砺市、佐賀県唐津市、令和６年能登半島地震でで甚大な被害を受けた石川県能美市、羽咋市からの要請を受け災害復旧技術専門家を派遣し、被災施設の早期復旧に向け支援・助言を行いました。

今後も気候変動に伴い、極端な降水がより強く、より頻繁となるなど水災害の頻発化、激甚化が懸念されています。

このような自然災害に対し、災害復旧対策は必要不可欠な命題であり、特に被災直後の初動体制の確保や緊急対策の速やかな実施、短期間で集中的な災害復旧事業の促進、再度災防止のための災害関連事業等積極的な推進が強く望まれているところです。

このため、いつ発生するかも知れない災害に対する備えとし、全国の自治体や建設関連企業等で災害復旧事業に携わる方にお集まりいただき実務講習会を開催しました。

今年度の実務講習会には、都道府県・政令市、市町村及び国土交通省地方整備局や賛助会員並びに建設関係企業の方々など、全国各地から400余名（別紙、受講者数参照）が講習を受けました。講習会は当協会の上総副会長の主催者挨拶で始まりました。

講義は、１日目に防災課長西澤賢太郎様より、「災害復旧に係る最近の話題」を講義して頂いた後、下記講習会日程に従い、２日目、令和５年発生災害復旧事業の紹介として、福岡県県土整備部河川管理課主任技師上玉利洋様より一級河川巨瀬川での災害復旧助成事業の採択事例について講義して頂き、最後に当協会富田理事より「災害復旧技術専門家制度」の紹介と活動実績の講義まで、災害復旧事業の実務を中心に講義が行われ、受講者の皆さまには、最後まで熱心に聴講頂きました。

今年度の講習会もお陰様で多数の皆さまの参加を頂き、無事終了することができました。

講習会にご協力頂いた各講師の方々、また参加頂きました聴講者の皆さまにはこの紙面をお借りし、心よりお礼を申し上げます。

主催者挨拶：上総周平副会長

令和６年度　災害復旧実務講習会日程

於：東京都千代田区 砂防会館別館シェーンバッハ・サボー

| 月　日 | 時　間 | | 講　義　題　名 | 講　師　名　（敬称略） |
|---|---|---|---|---|
| （第１日目）<br>5月20日<br>（月） | 12:00 ～ 13:00 | | 受　付 | |
| | 13:00 ～ 13:05 | 5 | 主催者挨拶 | 公益社団法人全国防災協会<br>副会長　上総周平（かずさしゅうへい） |
| | 13:05 ～ 13:20 | 15 | 災害復旧に係る最近の話題 | 国土交通省 水管理・国土保全局<br>防災課長　西澤賢太郎（にしざわけんたろう） |
| | 13:20 ～ 13:50 | 30 | 最近の自然災害と防災・減災の取組について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>防災企画官　岡本弘基（おかもとひろき） |
| | 13:50 ～ 14:40 | 50 | 公共土木施設災害復旧事業の基本原則について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>総括災害査定官　木村勲（きむらいさお） |
| | 14:40 ～ 15:20 | 40 | 災害復旧事業の新たな取組について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>防災政策調整官　西田将人（にしだまさと） |
| | 15:20 ～ 15:35 | 15 | 休　憩 | |
| | 15:35 ～ 16:45 | 70 | ①災害査定の留意点について<br>②令和５年発生災害採択事例について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>災害査定官　上水樽昌幸（かみみずたるまさゆき） |
| | 16:45 ～ 17:35 | 50 | 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の概要について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>災害査定官　松岡一成（まつおかかずなり） |

| 月　日 | 時　間 | | 講　義　題　名 | 講　師　名　（敬称略） |
|---|---|---|---|---|
| （第２日目）<br>5月21日<br>（火） | 9:30 ～ 10:00 | | 受　付 | |
| | 10:00 ～ 11:10 | 70 | 災害復旧事業の技術上の実務について<br>大規模災害時の災害査定の効率化（簡素化）<br>及び事前ルール化について<br>デジタル技術を活用した災害復旧について<br>令和６年能登半島地震における対応について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>基準係長　東海林（とうかいりん） 藤一郎（とういちろう） |
| | 11:10 ～ 12:10 | 60 | 改良復旧事業の取扱いと事業計画策定について | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>改良技術係長　小嶋（こじま） 恭輔（きょうすけ） |
| | 12:10 ～ 13:30 | 80 | 昼　食・休　憩 | |
| | 13:30 ～ 14:20 | 50 | 災害事務の取扱いについて①<br>災害復旧事業制度の概要と災害復旧事業の予算 | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>課長補佐　益子（ますこ） 修（おさむ） |
| | 14:20 ～ 15:05 | 45 | 災害事務の取扱いについて②<br>災害復旧事業費の精算と成功認定 | 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課<br>専門調査官　阿部（あべ） 洋一（よういち） |
| | 15:05 ～ 15:20 | 15 | 休　憩 | |
| | 15:20 ～ 15:50 | 30 | 防災・減災対策等強化事業推進費について | 国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室<br>課長補佐　原田（はらだ） 隆史（たかし） |
| | 15:50 ～ 16:40 | 50 | 令和５年発生　一級河川巨瀬（こせ）川災害復旧助成事業 | 福岡県　県土整備部　河川管理課<br>主任技師　上玉利（かみたまり） 洋（ひろし） |
| | 16:40 ～ 16:55 | 15 | 災害復旧技術専門家派遣制度について<br>～制度紹介と活動実績～ | 公益社団法人　全国防災協会<br>理 事　富田（とみた） 和久（かずひさ） |
| | 閉　講 | | | |

# 講　師　紹　介

「災害復旧に係る最近の話題」

講師：防災課長 西澤賢太郎様

「最近の自然災害と
防災・減災の取組について」

講師：防災企画官 岡本弘基様

「公共土木施設災害復旧事業の
基本原則について」

講師：総括災害査定官 木村勲様

「①災害査定の留意点について
②令和５年発生災害採択事例について」

講師：災害査定官 上水樽昌幸様

「災害復旧事業の技術上の実務について
大規模災害時の災害査定の効率化（簡素化）
及び事前ルール化について
デジタル技術を活用した災害復旧について
令和６年能登半島地震における対応について」

講師：基準係長 東海林藤一郎様

「災害復旧事業の新たな取組について」

講師：防災政策調整官 西田将人様

「「美しい山河を守る災害復旧基本方針」の
概要について」

講師：災害査定官 松岡一成様

「改良復旧事業の取扱いと
事業計画策定について」

講師：改良技術係長 小嶋恭輔様

「災害事務の取扱いについて ①
災害復旧事業制度の概要と災害復旧事業の予算」

講師：課長補佐 益子修様

「災害事務の取扱いについて ②
災害復旧事業費の精算と成功認定」

講師：専門調査官 阿部洋一様

「防災・減災対策等強化事業推進費について」

講師：広域地方政策課調整室課長補佐 原田隆史様

「令和５年発生
一級河川巨瀬（こせ）川災害復旧助成事業」

講師：福岡県県土整備部河川管理課主任技師 上玉利洋様

「災害復旧技術専門家派遣制度について
～制度紹介と活動実績～」

講師：全国防災協会 富田和久理事

## 受　講　者　数

331名

≪都道府県別≫

北海道　１名、青森県　３名、岩手県　７名、
宮城県　３名、秋田県　13名、山形県　５名、
福島県　12名、茨城県　２名、栃木県　１名、
群馬県　６名、埼玉県　２名、千葉県　13名、
東京県　４名、神奈川県　12名、新潟県　６名、
富山県　４名、福井県　２名、山梨県　４名、
長野県　７名、岐阜県　３名、静岡県　18名、
愛知県　６名、三重県　10名、滋賀県　１名、
京都府　３名、大阪府　22名、兵庫県　10名、
奈良県　２名、和歌山県　２名、鳥取県　12名、
島根県　３名、岡山県　４名、広島県　２名、
徳島県　４名、香川県　１名、愛媛県　３名、
高知県　４名、福岡県　５名、佐賀県　３名、
長崎県　２名、熊本県　４名、大分県　１名、
宮崎県　３名、鹿児島県　７名、沖縄県　２名
東北地方整備局　２名
九州地方整備局　２名
賛助会員　５名、その他（民間・団体）　57名
講師その他　21名

熱心に聴講する参加者

# 6月1日から土砂災害防止月間が始まります！

令和6年5月24日　水管理･国土保全局砂防部

梅雨や台風の時期を迎える毎年6月は「土砂災害防止月間」です。全国各地で国民一人ひとりに土砂災害の防止や被害軽減の重要性を認識し、理解を深めてもらうための行事や、功労者の表彰を行います。

## 【主な取組】

### (1)　土砂災害防止「全国の集い」の開催（広島県広島市）

「繰り返される土砂災害との闘い～土砂災害の歴史や社会情勢の変化を踏まえた今後の取り組みを考える～」をテーマとしたシンポジウムのほか、国や都道府県の最新の土砂災害対策事例等をパネルで紹介します。
（主催：国土交通省・広島県）

### (2)　土砂災害防止功労者の表彰

土砂災害防止に関して顕著な功績があった個人･団体に対して、国土交通大臣表彰を行います。今年度の功労者表彰は、個人３名です。

### (3)　小・中学生を対象とした土砂災害防止に関する絵画・作文の募集

次代を担う小・中学生に土砂災害及びその防止についての理解と関心を深めてもらうため､絵画･作文を募集します。なお、今年の土砂災害防止月間ポスターには昨年の最優秀作品を使用しています。　◇募集期間は６月１日から９月15日まで◇
【募集 HP】
http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/kaiga_sakubun.html

### (4)　土砂災害・全国防災訓練の実施

土砂災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図るため、全国の土砂災害警戒区域等における住民参加による実践的な訓練を実施します。

### (5)　都道府県による主要行事一覧

国と都道府県、市町村等で連携しつつ、適時・的確な避難行動の重要性の理解促進、土砂災害防止意識の普及活動の推進、警戒避難・情報伝達体制の確認等を実施します。

土砂災害防止月間ポスター

https://www.mlit.go.jp/report/press/sabo01_hh_000169.html

河川入門講座 ㉔

# 砂防（その２）
## ―砂防法の制定まで―

公益社団法人 日本河川協会 参与　松田　芳夫

わが国では、河川の洪水氾濫の原因に、山地の荒廃やそれによる土砂流出があることは、７世紀の飛鳥時代には知られていたようで、山地の森林を大切にせよとの布告の記録があります。

後世のことになりますが、江戸時代初期の1666年には、有名な“諸国山川掟之令”（しょこくやまかわのおきてのれい）という江戸幕府の命が発せられています。

その内容は、山地の草木を根まで掘起すこと、河原や川筋に田畑を開くこと、山中での焼き畑などの行為を禁止し、河川沿いに植林することを奨励するもので、現代にも通じるものがあります。

このような前史を踏まえ、近代にいたり明治23年（1890年）に帝国議会が開催されると、折からの全国的な水害の頻発に対し、国の手による治水事業の促進を求める声が高まり、建白書や陳情書も数多く提出され大きな政治課題になりました。

こうして、明治29年（1896年）に「河川法」が、翌30年（1897年）に「森林法」と「砂防法」がたて続けに制定され、いわゆる「治水三法」による治水行政の基本が出来上がり、以来、修正、付加、改善されながら130年間近く現在に至るまで続いているのです。

この間、戦後の新憲法体制の下で、森林法と河川法は大改正されて新しく生れ変わりましたが、砂防法は、死文化した条項を含みつつ部分的な改訂に停まったままです。

役所名は新しく書き替えられましたが、法律の文章は句読点一つ無いカタカナ書きの文語文のままです。

第一条は、

**“此ノ法律ニ於テ砂防設備ト称スルハ国土交通大臣ノ指定シタル土地ニ於テ治水上砂防ノ為施設スルモノヲ謂ヒ砂防工事ト称スルハ砂防設備ノ為ニ施行スル作業ヲ謂フ”**

という具合です。

「砂防」という用語は明治初めに定まってきたようですが、よく似た用語に「治山」があります。

「治山」は森林部門の用語で、良好な森林を育成するために、荒廃した山地を復旧し土砂崩壊や土砂流出を防止する行為を云いますが、現場における手段や工法は「砂防」のそれと殆んど変わりません。

「森林砂防」という見方もできます。

「治山」との対比で、治水事業としての砂防を「治水砂防」ということがあります。

砂防法では、上記の第一条のように“治水上砂防”という言い方がくり返されています。

河川の水源域としての山地まで含めた広範囲にわたる水害防止対策を、古くから「治山治水」と言ってきた歴史があります。

現代流にいえば、「治山治水」は、山地森林防災の「治山」、河川上流域での「砂防」、河川中下流部での「河川改修」と、治水対策を包括的に言う概念です。

現在の行政分担でいうと、「治山」は農林水産省林野庁の治山課の業務で、「砂防」は国土交通省水管理国土保全局の砂防部の業務になります。

協会だより

# 令和6年度第1回通常理事会開催

令和6年度第1回通常理事会が、令和6年5月7日(火)12時30分から、千代田区平河町の砂防会館別館2階「特別会議室」で開催されました。

1．出 席 者

| | | |
|---|---|---|
| 脇 会長 | 足立 副会長 | 日裏 副会長 |
| 末松 副会長※ | 上総 副会長 | 竹中 理事 |
| 田村 理事 | 楫野 理事※ | 池田 理事※ |
| 坂井 理事※ | 秋本 理事 | 奥野 理事 |
| 甲村 理事 | 富田 理事 | 藤澤 監事 |
| 野田 監事 | | |

(注)※の方はzoomによるテレビ会議で出席

2．審議事項

令和5年度事業報告の承認について
令和5年度収支決算の承認について
令和6年度定時総会の開催事項について
会長及び副会長の職務執行状況について（報告）

会長、足立副会長（参議院議員）の挨拶の後、議事録署名人選任、議案の説明・審議、報告、野田監事から監査報告が行われ、いずれの議案も原案どおり議決されました。

最後に、この理事会が最後の出席となる奥野理事が退任の挨拶をなさいました。

脇会長あいさつ

足立副会長あいさつ

野田監事から監査報告

役員の皆様

役員の皆様

ZOOM出席役員の皆様

奥野理事の退任挨拶

協会だより

# 令和６年度定時総会、第２回通常理事会、総括災害査定官による説明会、総会記念懇親会

令和６年度定時総会が５月30日(木)、東京都千代田区平河町の砂防会館別館１階淀･信濃会議室において、全国各地から多数の市町村長をはじめとする団体会員指定代表者、個人会員、役員、オブザーバー等207名の方々のご参加をいただき開催されました。

はじめに、脇雅史会長から開会の挨拶があり、引き続き、ご来賓としてご出席いただきました国土交通省水管理・国土保全局長廣瀬昌由様、同防災課長西澤賢太郎様の紹介があり、廣瀬局長からご挨拶を賜りました。

本総会の議事に先立ち、定款の定めにより脇会長が議長となり、また、議事録署名人として脇議長（会長)、上総周平副会長、富田和久理事の３名を選任し、令和６年度定時総会の議案審議に入りました。

脇会長（議長）挨拶

役員の皆様

廣瀬局長挨拶

役員の皆様

【議　案】

第１号議案　令和５年度収支決算の承認について

第２号議案　役員の選任について

〈理事候補〉　（敬称略）

脇　　雅史　脇雅史政策研究会代表

足立　敏之　参議院議員

日裏　勝己　和歌山県印南町長（和歌山県河川協会会長）

末松　則子　三重県鈴鹿市長（(一社)三重県社会基盤整備協会　理事）

上総　周平　五洋建設㈱顧問

竹中　喜之　北海道むかわ町長（北海道防災協会会長）

穂積　志　秋田県秋田市長（秋田県防災協会　会長）
太田　洋　千葉県いすみ市長（千葉県河川協会　理事）
田村　正幸　新潟県湯沢町長（新潟県河川協会　会長）
楫野　弘和　島根県大田市長（島根県土木協会　会長）
池田　三男　高知県津野町長（高知県防災砂防協会　会長）
坂井　英隆　佐賀県佐賀市長
山田　正☆中央大学研究開発機構教授
秋本　敏文　(公財)日本消防協会　会長
甲村　謙友　(公社)日本河川協会　会長
塚原　浩一　(公財)リバーフロント研究所　代表理事
富田　和久　㈱建設環境研究所　執行役員技師長
深澤　淳志☆全国建設弘済協議会

〈監事候補〉　（敬称略）
堀内　茂　山梨県富士吉田市長（山梨県河川砂防協会　前監事）
藤澤　泰彦　長野県生坂村長(長野県河川協会会長)
野田　徹　清水建設㈱　常務執行役員
（注）☆印の方は新任、他の方は重任

**【報告事項】**

(1)　令和5年度事業報告について
(2)　令和6年度事業計画及び令和6年度収支予算について

第1号議案については、報告事項(1)と一括して説明が行われ、また、野田監事から監事監査報告が行われ承認決議されました。続いて第2号議案の説明が行われ、まず一括して諮ることが承認された後、一括して原案どおり承認決議され、新任の山田正理事、深澤淳志理事から挨拶がありました。続いて報告事項(2)の報告が行われ、予定していた議案を全て終了し閉会しました。

多数の会員等の皆様のご出席、ご協力をいただきありがとうございました。

ご出席の市町村長等の皆様（前方5列）

ご出席の市町村長等の皆様（前方5列）

総会の様子

野田監事監査報告

山田正理事挨拶

深澤淳志理事挨拶

総会の様子

総会の様子

**【総会にご出席いただいた市町村長、県議会議員】**

（北から順に掲載、敬称略）

理事北海道むかわ町長竹中喜之　北海道福島町長鳴海清春　北海道木古内町長鈴木慎也　北海道月形町長上坂隆一　北海道秩父別町長澁谷信人　北海道和寒町長奥山盛　北海道小平町長関次雄　北海道苫前町長福士敦朗　北海道猿払村長伊藤浩一　北海道湧別町長刈田智之　北海道壮瞥町長田鍋敏也　北海道洞爺湖町長下道英明　青森県鶴田町長相川正光　山形県南陽市長白岩孝夫　山形県大江町長松田清隆　理事新潟県湯沢町長田村正幸　福井県若狭町長渡辺英朗　監事長野県生坂村長藤澤泰彦　長野県佐久穂町長佐々木勝　長野県根羽村長大久保憲一　長野県小川村長染野隆嗣　長野県南木曽町長向井裕明　長野県筑北村長太田守彦　長野県小谷村長中村義明　長野県飯山市長江沢岸生　長野県王滝村長越原道廣　長野県飯綱町長峯村勝盛　長野県小海町長黒澤弘　長野県川上村長由井明彦　長野県南牧村長有坂良人　長野県南相木村長中島則保　長野県北相木村長井出利秋　長野県南箕輪村長藤城栄文　長野県阿南町長勝野一成　長野県平谷村長西川清海　長野県売木村長清水秀樹　長野県天龍村長永嶺誠一　長野県阿智村長熊谷秀樹　長野県木曽町長原久仁男　長野県上松町長大屋誠　長野県木祖村長奥原秀一　長野県大桑村長貴舟豊　長野県麻績村長塚原勝幸　長野県白馬村長丸山俊郎　愛知県幸田町長成瀬敦　三重県副会長鈴鹿市長末松則子　三重県木曽岬町長加藤隆　三重県菰野町長諸岡高幸　三重県朝日町長矢野純男　三重県川越町長城田政幸　三重県伊勢市長鈴木健一　三重県度会町長中村忠彦　三重県御浜町長大畑覚　顧問奈良県天川村長車谷重高　奈良県野迫川村長吉井善嗣　副会長和歌山県印南町長日裏勝己　理事島根県大田市長楫野弘和　香川県議会議員花崎光弘　愛媛県大洲市長二宮隆久　理事高知県津野町長池田三男　高知県大豊町長大石雅夫　佐賀県多久市長横尾俊彦　佐賀県上峰町長武廣勇平　佐賀県みやき町長岡毅　佐賀県大町町長水川一哉

総会終了後、直ちに第2回理事会が2階特別会議室で開催され、脇理事（議長）の挨拶、足立理事（参議院議員）の挨拶、西澤防災課長の挨拶、新任の山田理事、深澤理事からの挨拶に続いて議事に入り、

会長及び副会長の選定、並びに副会長の順序について審議され、富田理事からの提案どおり決議されました。理事会閉会後直ちに総会会場に戻って会長、副会長の選定結果の報告がありました。

【選定結果】

会　長：脇雅史氏

副会長（順序の順）：上総周平氏、足立敏之氏（参議院議員）、日裏勝己氏（印南町長）、末松則子氏（鈴鹿市長）

理事会における脇理事（議長）挨拶

理事会における足立理事（参議院議員）挨拶

西澤防災課長挨拶

理事会の様子

理事会の様子

第２回理事会に引き続き、総会と同じ１階の淀・信濃会議室で、199名の皆様にご参加をいただいて国土交通省水管理・国土保全局防災課総括災害査定官木村勲氏により、「災害復旧事業の最近の取組」と題して説明会が行われました。

木村総括災害査定官による説明会

最後に、隣りの木曽会議室で総会記念懇親会が開催され137名の皆様にご参加いただき、全国各地の話題で盛り上がりなごやかにご歓談いただきました。

記念懇親会における脇会長あいさつ

記念懇親会における廣瀬局長来賓あいさつ

日裏副会長（印南町長）による乾杯

盛会な記念懇親会

末松副会長（鈴鹿市長）による中締め

## 令和6年　発生主要異常気象別被害報告

令和6年4月30日現在（単位：千円）

| | 冬期風浪及び風浪 | | 豪雨 | | 地すべり | | 融雪 | | 地震 | | 梅雨前線豪雨 | | 台風 | | その他 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 | 箇所数 | 金額 |
| 北海道 | 1 | 200,000 | | | | | 3 | 118,000 | | | | | | | | | 4 | 318,000 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 〈1〉 | 〈300,000〉 | 〈1〉 | 〈300,000〉 |
| 岩手 | | | | | | | | | | | | | | | 1 | 300,000 | 1 | 300,000 |
| 千葉 | | | 1 | 75,000 | | | | | | | | | | | | | 1 | 75,000 |
| | | | | | | | | | 〈17〉 | 〈1,183,000〉 | | | | | | | 〈17〉 | 〈1,183,000〉 |
| | | | | | | | | | (5) | (40,000) | | | | | | | (5) | (40,000) |
| | | | | | | | | | [10] | [1,219,340] | | | | | | | [10] | [1,219,340] |
| 新潟 | 1 | 500,000 | | | | | | | 81 | 6,690,340 | | | | | | | 82 | 7,190,340 |
| | | | | | | | | | 〈33〉 | 〈4,598,000〉 | | | | | | | 〈33〉 | 〈4,598,000〉 |
| | | | | | | | | | (15) | (1,000,714) | | | | | | | (15) | (1,000,714) |
| | | | | | | | | | [63] | [11,081,465] | | | | | | | [63] | [11,081,465] |
| 富山 | | | | | | | | | 307 | 31,366,599 | | | | | 1 | 250,000 | 308 | 31,616,599 |
| | | | | | | | | | 〈482〉 | 〈79,904,078〉 | | | | | | | 〈482〉 | 〈79,904,078〉 |
| | | | | | | | | | (62) | (8,090,740) | | | | | | | (62) | (8,090,740) |
| | | | | | | | | | [84] | [144,256,910] | | | | | | | [84] | [144,256,910] |
| 石川 | | | | | | | | | 7,665 | 779,976,466 | | | | | | | 7,665 | 779,976,466 |
| | | | | | | | | | 〈1〉 | 〈111,000〉 | | | | | | | 〈1〉 | 〈111,000〉 |
| | | | | | | | | | (1) | (6,000) | | | | | | | (1) | (6,000) |
| | | | | | | | | | [2] | [220,000] | | | | | | | [2] | [220,000] |
| 福井 | | | | | | | | | 15 | 1,328,500 | | | | | | | 15 | 1,328,500 |
| 山梨 | | | 4 | 880,000 | | | | | | | | | | | | | 4 | 880,000 |
| 長野 | | | 2 | 70,000 | | | | | | | | | | | | | 2 | 70,000 |
| 岐阜 | | | 3 | 160,000 | | | | | 1 | 60,000 | | | | | | | 4 | 220,000 |
| 静岡 | | | 5 | 565,000 | 1 | 145,000 | | | | | | | | | | | 6 | 710,000 |
| 三重 | | | 2 | 50,000 | | | | | | | | | | | | | 2 | 50,000 |
| 和歌山 | | | 3 | 234,000 | 2 | 1,970,000 | | | | | | | | | | | 5 | 2,204,000 |
| 鳥取 | | | | | 2 | 584,856 | | | | | | | | | | | 2 | 584,856 |
| 島根 | | | | | 1 | 2,300,000 | | | | | | | | | | | 1 | 2,300,000 |
| 岡山 | | | 1 | 5,000 | | | | | | | | | | | | | 1 | 5,000 |
| 山口 | | | 5 | 125,000 | | | | | | | | | | | | | 5 | 125,000 |
| | | | | | | | | | 〈1〉 | 〈150,000〉 | | | | | | | 〈1〉 | 〈150,000〉 |
| | | | | | | | | | (1) | (1,000) | | | | | | | (1) | (1,000) |
| 愛媛 | | | | | | | | | 7 | 414,500 | | | | | | | 7 | 414,500 |
| 高知 | | | 5 | 260,000 | | | | | 2 | 30,000 | | | | | | | 7 | 290,000 |
| 佐賀 | | | | | 1 | 250,000 | | | | | | | | | | | 1 | 250,000 |
| 長崎 | | | 3 | 26,000 | 1 | 350,000 | | | | | | | | | | | 4 | 376,000 |
| 熊本 | | | 17 | 308,700 | 3 | 570,000 | | | | | | | | | | | 20 | 878,700 |
| 宮崎 | | | 2 | 700,000 | 2 | 2,000,000 | | | | | | | | | | | 4 | 2,700,000 |
| 鹿児島 | | | 5 | 58,400 | | | | | | | | | | | | | 5 | 58,400 |
| 沖縄 | | | 1 | 10,000 | | | | | | | | | | | | | 1 | 10,000 |
| | | | | | | | | | (14) | (605,039) | | | | | | | (14) | (605,039) |
| | | | | | | | | | [41] | [8,459,153] | | | | | | | [41] | [8,459,153] |
| 新潟 | | | | | | | | | 361 | 13,359,721 | | | | | | | 361 | 13,359,721 |
| 静岡 | | | 1 | 100,000 | | | | | | | | | | | | | 1 | 100,000 |
| 補助計 | | | | | | | | | 〈534〉 | 〈85,946,078〉 | | | | | 〈1〉 | 〈300,000〉 | 〈535〉 | 〈86,246,078〉 |
| | | | | | | | | | (98) | (9,743,493) | | | | | | | (98) | (9,743,493) |
| | | | | | | | | | [200] | [165,236,868] | | | | | | | [200] | [165,236,868] |
| | 2 | 700,000 | 60 | 3,627,100 | 13 | 8,169,856 | 3 | 118,000 | 8,439 | 833,226,126 | | | | | 2 | 550,000 | 8,519 | 846,391,082 |
| 直轄計 | | | | | | | | | 38 | 49,193,464 | | | | | | | 38 | 49,193,464 |
| 合計 | 2 | 700,000 | 60 | 3,627,100 | 13 | 8,169,856 | 3 | 118,000 | 8,477 | 882,419,590 | | | | | 2 | 550,000 | 8,557 | 895,584,546 |

※上段（　）内書は、公園分、［　］内書は、水道(令和6年4月以降)・下水道分、〈　〉内書は、港湾・港湾に係る海岸分である。

※被害報告は、月2回（15日、月末）国土交通省HPで公表。最新は下記をクリック
http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/bousai/saigai/kiroku/houkoku.html